

広報よもぎた

内容

- 55年度決算報告……………2～3
- わが村の行財政改革基本方針……………4～6
- 青年海外派遣記・海外の青少年活動……………7
- RAB文章駅伝・むらの話題……………8～9
- 行政コーナー・地籍調査・行政マン登場
母子家庭児童の医療費……………10～11
- 郷土の歴史・むらの生活誌……………12～13
- 談話室・ヤングメッセージ・母親クラブ通信
とっちや元気ですか・戸籍の窓口……………14～16

NO. 141



稲作無念……クズ米続出

農家経営は深刻

春からの不順天候との戦い。登熟期を襲った強烈な台風十五号。刈り取り期を伸ばしてやっとの思いで刈ったら、予想以上の減収と品質の低下。二年続きの凶作が決定的です。

作年のわが村の作況指数は「3」。今年は十アール当たり、よいところで三、四俵とれたといっても、ほとんどが登熟不良による規格外米とクズ米が続出。今年こそはとがんばってきただけに、農協の検査場へ米を運び込む農家の人々はガツクリです。クズ米は、政府の買入れ対象から完全にはずされているだけに、農家では、「生活そのものは、去年より今年の方がもっと深刻なのだ。」と訴えています。

10月
11月
昭和56年

五十五年度決算報告

昭和五十五年度の「村づくり」に使ったお金の決算をお知らせします。

一般会計の歳入決算額は十二億二千五百二十八万円。

歳出は二十一億六千二百四十二万円です。五十四年度決算にくらべれば九億円あまりもふえました。

予算、決算という親しみ

にくい言葉かもしれませんが私たちの暮らしに直結した村の財政です。たいせつな財源が有効に活用されたか、あな



(蓬田川災害復旧工事)

●むらの財政規模推移

年 度	歳入決算額 万円	歳出決算額 万円
49	6億2,671	5億1,962
50	6億3,779	6億1,259
51	7億2,039	6億6,865
52	9億449	8億1,668
53	11億4,117	10億721
54	13億9,330	13億3,126

あなたのお手もとに、五十五年四月号の「広報よもぎた」がありますか。そこに五十五年度の当初予算が出ていますから、比較することができます。

十九億六千四百三十七万円の当初額が二十二億二千五百二十八万円になったのですから約十三割の伸びになります。予算は一種の見積りです。予算実行の結果は必ずしも予算どおりにならない場合もあります。年度の途中で昨年のような大凶作とか災害発生という事態もあり、そのつど補正という形で不足したり余ったりする予算が調整されていきます。

歳入の部では、その大部分が地方交付税(二八・三割)、国庫支出金(三五・二割)、県支出金(〇・五割)で占められています。これに対し、私たちが納めている村税は歳入の四・八割。自主財源の少ない村であることを示しています。

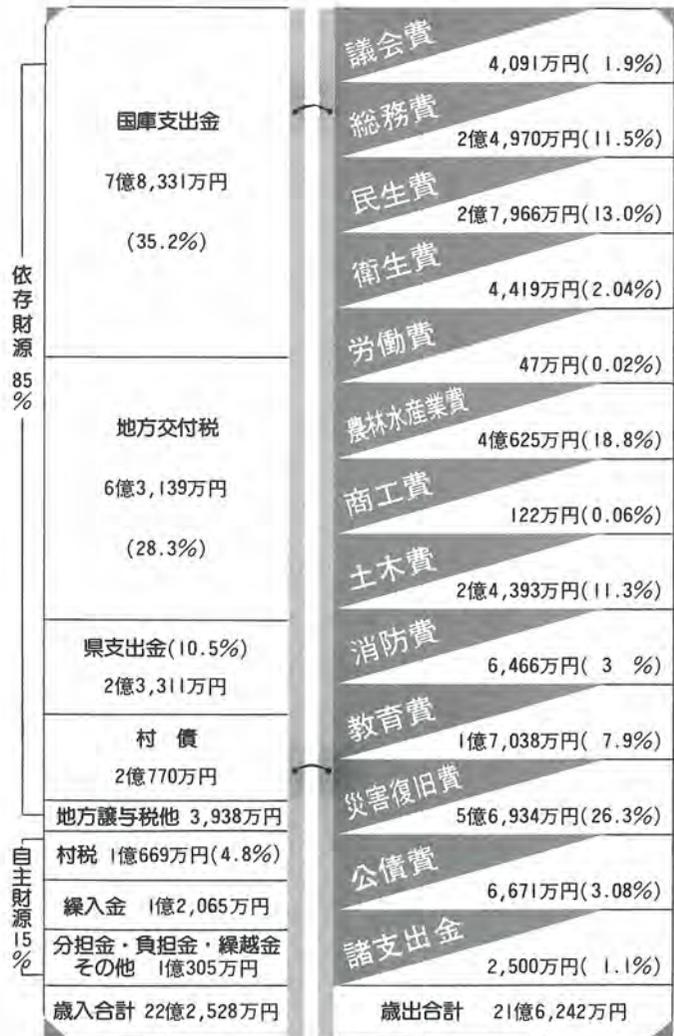
歳出額の多いものでは、蓬田川災害復旧工事を含む災害復旧費が五億六千九百万で全体の二六割。農村基盤を支える農林水産業費が四億六百万。この二つを加えると全体の四五割を占めます。

民生費の中には蓬田保育所改築工事が入っています。この建設には、みなさんの納めた国民年金積立金が役立っています。加入者が納めた保険料は、将来年金を支払う財源としていったん大蔵省に預けられますが、地域の公共福祉施設建設資金としても貸出しされているのです。

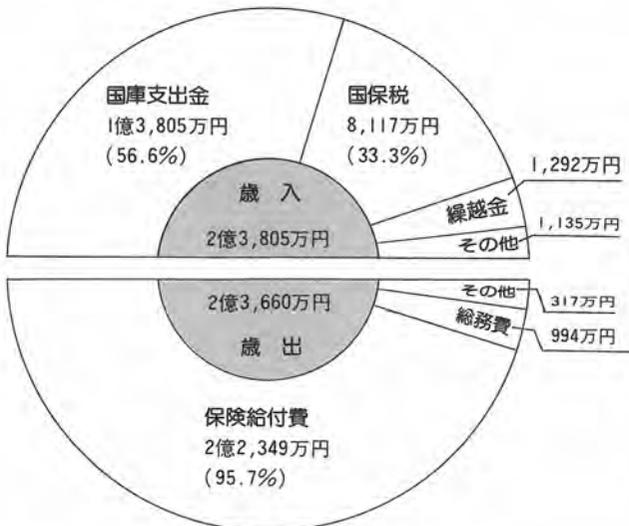
一般会計

55年度のおもな事業

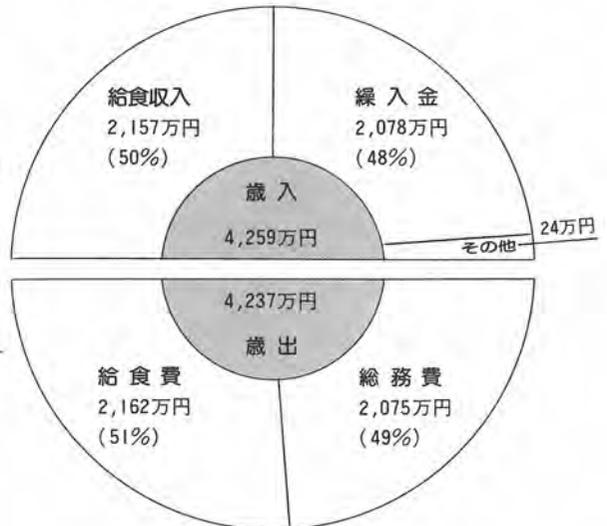
保育所改築に伴う工事請負費	1億3,696万円
肉用牛モデル畜舎新築工事請負費	3,533万円
(畜産団地)避難舎新築工事請負費	7,653万円
県営草地開発事業負担金	506万円
玉松台古城沼排水路工事	230万円
玉松台古城沼ため池整備事業工事	922万円
板木沢地区ため池整備工事	883万円
農村総合整備モデル事業用地買収費	1,114万円
長科農村公園工事請負費	306万円
冷害対策・農作物種子確保対策事業補助金	1,554万円
中沢長科裏通り線道路改良工事	2,591万円
中沢長科裏通り線道路舗装工事	462万円
広瀬ウルシ山橋かけかえ工事	395万円
中学校通り道路舗装工事	647万円
阿弥陀川村道橋改修工事	240万円
除雪ブルドーザー購入	815万円
スクールバス購入(2台)	1,580万円
河川費(蓬田川災害復旧関連事業工事請負費)	8,945万円
公営住宅建設用地購入	2,193万円
防火水槽新設工事(4基)	1,055万円
消防ポンプ車2台、小型動力ポンプ車2台購入	1,820万円
蓬田小学校屋根張り替え、教室床張り替え工事	1,734万円
蓬田幼稚園園入口溝整備・前庭整備・アルミ窓取付・ 自動火災報知機設置……	719万円
村民体育施設建設用地購入	1,987万円
蓬田川災害復旧関連工事	4億8,973万円
阿弥陀川災害復旧工事	1,235万円
西股沢川災害復旧工事	1,248万円
関根股沢川災害復旧工事	167万円
砂川沢川災害復旧工事	150万円
広瀬高根線道路災害復旧工事	975万円



国保特別会計



学校給食センター特別会計





……質問にも熱が入った説明会……

わが村の 行財政改革 基本方針

1 各種団体の

補助金について

村単独で各種団体に出している補助金は、今年度の当初予算で六十三件あります。金額になると二千二百五十八万五千円です。村としては、一割から三割程度の見直しを考えています。

ただし、一律に一割から三割という考えではありません。その団体の活動が定着し安定したものはある程度削減し、さらに育成の必要なもの、社会的に要望されているものには補助金を出す必要があります。

十万円ものを七万円にする

国の行財政改革が打ち出され、市町村にも厳しい改善要求が出されました。我が村ではこの内容を検討し、蓬田村の行財政改革基本方針をまとめ9月10日に説明会を開きました。

出席者は村内の各種補助団体、各種委員、行政の各機関、村議会議員、区長など約80人です。57年度予算編成や住民の生活、家計に影響する保育料の問題もあり、質問にも熱が入りました。村では今回集まっていた住民の中から行財政改革審議会を組織し、さらに具体的な審議を重ねる計画です。

2

スクールバス 福祉バスの使用

小学校や中学校、福祉団体が行う事業で、必ずやらなければならないものには、従来どおりバス運行は必要です。

それ以外の各種団体が使用するスクールバス、福祉バスが非常に大きい数字になっています。これに伴う運転手や車掌の旅費超過勤務手当、バスの燃料費も

ということではありません。各課、団体とも協議のうえ、実情にあった補助金の出し方を行い、効果的な補助金にしたい方針です。

3 保育料の

見直しについて

大きな負担です。各種事業や研修会で、ぜひバス運行が必要なのは別として、各種団体が研修会と称して雲谷へ行ったり、十和田湖へ行く場合がたくさんあります。さらにだんだん遠くへ出かける傾向です。村としては、この点の改善を計りたい考えです。

保育料は国で定めている基準があります。D階層はD₁からD₁₂まであり、蓬田村ではD₅まで利用しています。D₅以上の所得者であっても、保育料はD₅で押さえられています。

東郡の状況を調査したところ、国の基準どおりD₁₂まで徴収しているのは平内町、蟹田町、今別町です。平館村と三厩村は独自のものをつくって、保育料を徴収しています。蓬田村としては、国の基準どおりD₁₂までいかになくとも、それに近い保育料を徴収したい計画です。



保育所徴収金基準額(56.4.1現在)

世帯の階層区分		徴収金基準額(月額)		
区分	定義	3歳未満児	3歳以上児	
A	生活保護世帯	円 0	円 0	
B	Aを除く前年度市町村民税非課税世帯	0	0	
C ₁	前年度市町村民税の課税世帯であって、その額が次の区分に該当する世帯	均等割だけ 6,450	4,400	
C ₂	所得割の額が5,000円未満	7,050	5,000	
C ₃	所得割の額が5,000円以上	8,050	6,000	
D ₁	前年度所得税課税世帯であって、その所得額の区分に該当する世帯	3,000円未満	8,800	
D ₂		3,000~15,000円未満	10,350	
D ₃		15,000~30,000円未満	12,400	
D ₄		30,000円以上 60,000円未満	16,750	3歳 14,700 4~5歳 14,700
D ₅		60,000円以上 90,000円未満	22,100	3歳 20,050 4~5歳 17,970
D ₆		90,000円以上 120,000円未満	27,800	3歳 21,120 4~5歳 17,970
D ₇		120,000円以上 150,000円未満	35,200	3歳 21,120 4~5歳 17,970
D ₈		150,000円以上 180,000円未満	39,950	3歳 21,120 4~5歳 17,970
D ₉		180,000円以上 210,000円未満	43,900	3歳 21,120 4~5歳 17,970
D ₁₀		210,000円以上 240,000円未満	46,190	3歳 21,120 4~5歳 17,970
D ₁₁		240,000円以上 270,000円未満	46,190	3歳 21,120 4~5歳 17,970
D ₁₂		270,000円以上	46,190	3歳 21,120 4~5歳 17,970

4 幼稚園入園料

の見直し

当村では五歳になると、百円近くの子供が幼稚園に入ります。蓬田幼稚園は、四月に入園料千五百円を徴収するだけで、毎月の保育料というものがありません。

現在県内の公立幼稚園は二十六(市立五・町立十三・村立八)あります。この内、毎月の保育料をとっていないのは、当村と東通村だけです。市の保育料を

5 祝酒・祝金の

廃止について

平均すれば月額二千五百二十円、町立て月額二千八百七十九円、村立て月額三千四百五十四円になります。県下の公立を平均すれば、月額二千八百九十九円の保育料です。

わが村でも、県下の市町村と均衡をとりながら、毎月の保育料徴収を検討しています。

村長と議長に案内状がきます。手ぶらで行けないので、これまでは、二升ずつ持って出かけた。議長も出席すると三千三百円、議長も持つていくと、一回に六千六百円の支出になります。

- ### 質問事項
- ① 保育料や、幼稚園の入園料などを見直した場合、役場の計算では、どのくらいの増収になりますか。家庭の負担はどの程度ですか。
 - ② 母子家庭の児童・生徒の医療費を十割給付したいというのですが、父子家庭はどうなるのですか。
 - ③ これまでの説明では、行財政改革のしわ寄せが住民ばかりへ来るようです。行政側ではどんな自主的改善をし、努

- ④ スクールバスや福祉バス利用削減の件ですが、その理由をもう少し詳しくお知らせください。バスで研修に行くときなどは、どのくらいの距離まで許可になりますか。
- ⑤ 蓬田村は教育立村と呼ばれるほど教育に力を入れてきています。今回の行革が実施されれば、それがくずれる心配はないのか。
- ⑥ 学校給食や清掃業務の民間委託を進めるようにという国、県からの指摘ですが、蓬田村では将来の展望、計画がありますか。
- ⑦ 役場職員の定員抑制策としてどんなことを考えていますか。今回のような説明会を、各地区を回って開いてもらいたい。

回答

① 現在蓬田村の保育料は、たとえば千円の保育料を納めなければならぬ人であれば八五割を本人が負担し、あとの一五割は村が負担しています。こういう措置は蓬田だけです。国の基準どおりに保育料を徴収すれば、D₆以下では一五割の

57年度予算編成に対する 国・県からの指摘事項

①一般行政経費について

一般行政経費のうち人件費については、定員、給与の合理化により、積極的に抑制する。旅費や庁費などの経常経費については、前年度と同額またはそれ以下に抑制すること。

②補助金について

補助金を受けている各種団体を具体的に調査し、不適当なものについては、1割から3割削減すること。

- すでにその目的を達成しているもの。あるいは社会的、経済的実情に合わなくなったもの。
- 補助金の効果が乏しいもの。
- 受益者負担、その他の措置にすることが可能なもの。
- 零細補助金の整理統合。緊要性の乏しいものについては一時停止、補助率の引き下げを図る。

③社会福祉について

保育所の保育料は、基準に応じた徴収金を徴収すること。幼稚園入園料も合わせて検討し、基準に応じて強化公平を図る。新設は地域の実情を配慮しつつ、全体として抑制する。

④公共事業及び単独事業について

公共事業関係費については、前年度以下に抑制し、事業実施に当たっては、その効果の早期発現を重視する。新規事業を極力抑制すること。

⑤行政の合理化、効率化対策

- 地方公務員の増員を厳しく抑制する。
- 地方公共団体が、国の法令で定める定数を超えて職員配置をしている場合は、その改善を強く指導する。
- 公共施設については民営化、管理運営の民間委託、非常勤職員の活用など地域の实情に合った方法を講じる。

●公共施設建設については、財政再建期間中は抑制する。

●学校給食業務や清掃業務については、非常勤の職員の活用、民間委託などを検討し、地域の实情に即して積極的に推進する。

⑥地方公共団体の定数抑制について

- 地方公共団体は、類型別標準定数（モデル）を活用し、厳正な定員管理を行う。
- 地方公共団体は経営の実態に応じ、国家公務員の定数削減計画に準じた措置をとること。

増加。D₂で頭打ちになつていく人が十九人いますが、所得によつてD₂までもつていくと、全体としては約二百萬円の増収が見込まれます。

幼稚園については、月三千円程度の保育料を徴収すると、年間約二百四十万円になります。園児一人当たり年間三萬六千円ほどの保育料負担です。

2 母子家庭については、福祉事務所からせひやつてもらいたいということ。義務教育終了前の児童・生徒の医療費は、県が半分、村が半分負担することになります。

父子家庭については、これから行財政改革審議会を組織するので、その中で具体的な話し合いを行い、村独自でやるかどうかを検討します。

3 役場では人件費などの見直し策として、今年七月一日から青森市や蟹田町への出張日当を半額にし、財源節約をはかっています。特別職の給料も五十四年度から通算二十九か月アップ等をおくらせています。

我が村は自主財源が非常に小さな団体です。国からの地方交付税や国庫支出金に大きく頼っているのが現状です。これらの配分を受けるにしても、村と住民がどれだけ努力したうえで申請をしているのか、すでに厳しいチェックが始まっています。

財源をいくらかでも確保し、単独事業に当てることができるように、村民のみなさんの協力をお願いします。

4 現在スクールバスが四台、福祉バスが一台あります。バスの買い替え、運転手や車掌の人件費、燃料など総合すれば、年間運行経費は一億円近い財源を必要とします。

研修などのバス利用ですが、往復一五〇*を超えると、運転手が二人必要です。一人では次の日の業務に支障が出るからで

5 実施する段階になつてみないと判断できませんが、文部省では小さな子供の教育がだいじにされています。その点幼児教育は今後も力を入れる必要があります。

スクールバスの件ですが、当村では年々児童数が減つていますが、保育所、幼稚園、小学校を4台で運行していますが、いずれは3台で運行可能になる時期がくるかと予想されます。

近年子供の体力低下が指摘さ

す。二人分の旅費や燃料がかかります。全部がダメというわけではありません。これまで五回行つていたところを三回にするとか、利用者側も節約に協力願いたいのです。

距離については行財政改革審議会の中ではつきりした線を出すことにします。

6 給食センターの民間委託という件ですが、今どこでやるという話し合いはありません。村内で引き受けてくれる人があればよいのですが、なかなか見当たりません。センターに勤務する職員の身分もありませんので、まだまだ慎重な検討が必要で

7 各地区で開催するのもよいのですが、これまでの状況をみても、集まるのは、十人から十五人ぐらいです。

行財政改革の場合、今回集まつていただいたみなさんの中から行財政改革審議会を組織し、そこで決定したものを、今日のような全体集会に報告したいと思ひます。大きな問題であり、どうしても各地区で集会が必要などときは開催します。



青森県青年海外派遣記

藤本美尋 (長科・23歳)



海外の青少年活動

利用者中心の 青少年活動施設

私は八月二十三日から九月一日まで、ソ連・デンマーク・イタリア・スイス・西ドイツ・イギリス・フランスの七か国訪問の、青森県青年海外派遣に参加しました。

県内の青年三十四人(うち女性六人)が参加したのですが、個人テーマがあります。産業(農業、青少年活動、歴史と文化、社会福祉の四つがあり、私は青少年活動を選びました。

施設は、スイスのチューリッヒにあるバーデン青年の家、西ドイツの郵便局員のためのスポーツセンター、青少年余暇センター、デンマークのフリータイムハウスの四か所です。

まず、バーデン青年の家は、今から十五年前に食べ物貯蔵庫を改造したもので、市の社会福祉担当が管理していました。利用者は十五歳から二十五歳までの青年が多く、映画、民族芸能などいろいろなサークル活動の場となっています。

スポーツセンターは、郵政省と市のスポーツ連盟が管理し、会員は四千七百人。三〇割が一般市民、五〇割が十八歳までの青少年だそうです。

西ドイツでは、学生が放課後クラブを作りスポーツをするということがありません。スポーツをしたい人は、このスポーツセンターのような所に会員登録し、スポーツを楽しむのだそうです。施設はとてもしつぱです。屋内はバレーボール、柔道、ウエートトレーニング、屋外はハンドボール、テニスコート、四百メートルトラックなどの施設があります。

そのほか二か所視察しましたが、どの国でも青少年が利用できる施設がたくさんあります。特にうらやましく思えたことは使用時間が利用者のことを考え



……民泊先のワード・スペンサー氏と夫人(イギリス・ラグビー市)……

て、夜十一時までとなっていることです。

続けていきたい 地域での活動

我が国の青少年活動のみでみると、サークル活動のほかに、青年団や子ども会のような、地域活動を目的とした団体があります。

自分たちの楽しみばかりでな

く、地域のことを考えた活動はとてまじなことであり、これからも続けていく必要があると思います。

私は青少年活動だけでなく、ソ連、ヨーロッパの人々の生活、考え方などを見たり聞いたりして、改めて自分と自分の回りを考えさせられました。自分の考えたことをみんなと話しながら、青年団に、地域活動に役立たいと思います。

年末年始帰青客の 列車指定券を 受け付けします。

年末年始をふるさとで過ごすお客さんのために、蓬田駅では列車指定券を受け付けています。指定券は一か月前から発売になります。お早めにお申し込みください。

団体・グループ旅行の相談にも応じています。指定券はもちろん、宿泊先の紹介もします。気軽においでください。

●蓬田駅
電話・2019番

移動消費生活センターを開設します

主婦は家庭の衣食住を必ずやる重要な立場。その主婦にぜひ知ってもらいたい知識を学習できる場として、県の消費生活センターでは「移動消費生活センター」を実施しています。今回の日程で当村で開催することになりました。どなたでも参加できます。ぜひおいでください。

とき 11月27日 午前9時30分
ところ 蓬田村中央公民館

内容・映画「母と子の消費者教育」他

・講座「食品添加物と加工食品」
・パネル展示(食品・繊維・洗剤・訪問販売)



かわいたのどに冷たいジュースが、いつもより甘く感じられる。口の中で、オレンジのつぶが「プチン」「プチン」とはじけるたびに、わたしの心の中で何かはずむようだった。
日の光をキラキラと反射させて、ゆったり流れる岩木川。アップルロードから岩木川をながめ、わたしたちを乗せたバスは、今走っている。道路の両わきには、緑の田園。まだ青くて小さいりんごをすずなりにさせている木が続いている。
いつか、どこかで見た景色。わたしのまぶたに焼きついてい、のどかな風景、なつかしい風景。今、見ている景色は、どこかが似ているような気がする。そう、どこかが。そんな思いを胸にとめたわたしを乗せて、バスはまた走っていく。
うっすらと空が晴れ始めたころ、岩木山が見えてきた。津軽

● RAB文章駅伝

わたしの旅

長谷川七重(蓬小・6年)

岩木神社の水

石造りの大きなとりいをくぐ

の富士といわれる岩木山は、今日はあいにく雲がかかり、はっきりとは見えなかった。が、雲がかかった岩木山もまた、威厳がありそしてやさしくも感じられた。

り、石だたみを進んだ。四角にそろった石が規則正しく並ぶこの岩木神社は、大祭のある社として県でも、有名である。ここにお参りする人々は、ほとんどが県外から来た人なのだそう。集まる人々は、若者も子供も大人も老人も、そしてわたしも、心が一つにまとまっているようだった。
石の階段を登って行くと、左手にまっつ二つにさけた大木が見える。二、三年前落雷にあり、割れてしまったそう。天ぼつだったのか、運命だったのか、今はこんな姿になってしまった木をわたしはながめていた。
社に行つて、さいせんで投げ入れ祈つた。
「旅行中、みんなが無事でありますように。」
そう、強く願つた。
階段をおりていって、不老不死の、頭が良くなる、万病にきく水を、大きな長いひしゃくでくんで、ゴクゴクと飲んだ。おいしい。どんな飲み物よりもおいしいと、そのときほんとうに思った。冷たくて、どこかほんのり甘くて、そんな水だった。わたしは祖母に飲ませてやりたい、そう思った。病気で床にしている祖母に飲ませて、元気にしてやりたいという気持ちでいっぱいだった。
石段を一步一步ふみしめて、

ぼくだって最後まで歩くんた。

10月10日の体育の日、5歳の子どもから70歳の高齢者まで約100人が参加し、にぎやかに村民歩け歩け大会が開かれました。この大会は、教育委員会と青少年育成蓬田村民会議が村民の体力づくりを目指して開いたものです。

コースは蓬田中学校から瀬辺地山の畜産団地まで。スタートは午前10時。途中強い風と雨にあったときは、中学校の生徒が先頭をつとめ、みんなを励ましながら進みました。午後は天気もあがり、アケビや山ブドウ、キノコをさがしながら、秋の山を楽しみました。



3歳児検診
むし歯調査

本数	人数
0本…	2人
1本…	4人
2本…	6人
3本…	3人
4本…	3人
5本…	2人
6本…	4人
7本…	3人
8本…	3人
9本…	3人
10本…	2人
11本…	3人
12本…	5人
13本…	5人
14本…	2人
15本…	3人
16本…	0人
17本…	2人
18本…	1人
19本…	0人
20本…	1人
合計	57人

今年の三歳児検診が九月九日実施されました。この検診でとくに気になったのが、子どものむし歯が多いことです。検診を受けた五十七人中、むし歯が一本もない子は二人だけ。平均すれば八本のむし歯があるという状態です。

一本ぐらいいなくても…と、つい考えがちです。ところが、歯が全部そろっているときのかむ力を一〇〇とすれば、一本抜けると六〇、臼歯が数本抜けると四〇に低下します。むし歯が痛めば食欲も減り偏食がちになります。その結果、むし歯の多い

●お誕生日を迎えたら
少なくとも朝晩の二回は、小さなやわらかい歯ブラシで、歯

要です。

●上の歯がはえ始めたら
水を含ませた清潔なガーゼや脱脂綿を指先に巻きつけて、歯の表面のよこれを軽くふきつけてやります。粘膜を傷つけないように注意します。お母さんは、口の中を見る習慣をつけましょう。

歯みがきのポイント

●二歳すぎたら
一人で歯ブラシをもってみがく練習を始める。ふじゅうぶんですから、お母さんが手伝ってあげます。歯ブラシは子どもの口の大きさに合ったものを選び、歯みがき粉は使わなくてもかまいません。

●三〜四歳すぎたら

ふじゅうぶんながら、一人でみがくようになります。上の歯は上から下へ。下の歯は下から上へ。奥の歯はかみ合わせの面をかき出すように。みがいたときは忘れずにほめてやります。

子どものむし歯

ここは、岩木山のちようどふもとにあたる温泉地帯である。温泉の宿は全部で十三軒あるのだそうだ。とうじ(湯治)の町のせいか、とつてものんびりして自然があふれる町だと思つた。

湯治の町岳温泉

岩木神社のいろいろな話しをもう一度思い出して、わたしたちは、岳温泉に向かった。

いつもだと、今が忙しくなる時期なのだが、農家で作業がおくれているので、まださうでもないらしい。

●七月二十七日から七月二十九日にかけて行われたRAB文章駅伝で、長谷川さんはテリー東北新聞社社長賞を受賞しました。

この温泉は、けがによくきくのだそうだ。温泉にも種類があつて、神経痛にきく温泉や冷え症にきく温泉といろいろあるのだそうだ。

旅館の玄関には、つばめの巣がたくさんあつて、ひなや親鳥が出入りして、とつてもかわい

い。わたしもこのひな鳥と同じだったのかなあと思つて、何となく、くすぐつたくなつた。

大地と、緑の木々と、そしてみんなといっしょに、力強く息をした今日の一日だ。

面を軽くこすつてよこれをとつてやりましょう。

広〜くなりました
蓬小グラウンド。

野球をやるには狭い、水はけが悪い、草むらが多く球技用コートがとれないなど悩みの多い蓬田小学校グラウンドでしたが、8月からの整備工事で、広々としたグラウンドに生まれかわりました。暗きよ排水を入れ、周囲もフェンスで囲んだあずまい仕上りです。

10月7日にはグラウンド開きをかねた球技大会を行い、完成を祝いました。工事を請け負った㈱久慈ブルドーザーから、野球道具一式が記念に贈られ、子どもたちに喜ばれています。



… 思いつきり、走りまわれるぞ …

地籍調査は 土地の戸籍調査



……一筆一筆慎重にくだちを進めます……

地籍調査は、昭和二十六年に施行された国土調査法に基づいて実施されたもので、土地の戸籍調査と呼ばれています。わが村では昭和五十年に広瀬滝沢地区からスタートし、昭和五十七年中沢地区を最後に完了する予定です。

地籍調査の内容を大別すると、一筆ごとの土地の（地番・地目・所有者の調査）と、（境界・面積の測量）の二つがあります。調査した結果は、地図と簿冊に作成します。

地図は地籍図といって、国有林を除くすべての土地について四等三角点以上を基準にして正確に測量します。後日境界が不明になったときでも復元できる能力があり、これが今までの測量と異なる点です。

調査した結果の簿冊を地籍簿といえます。土地登記簿と同じ内容のもので、一筆ごとの土地の所在・地番・地目・面積・所有者が記載されています。この地籍図と地籍簿の写しが登記所に送付され、これまでの字限図と土地台帳にとってかわることになります。

当村では、母子家庭の児童が病院にかかった場合、病院に支払った医療費（自己負担分）を村で給付することになりました。これは九月議会で決議されたも

- 該当する家庭
 - ・配偶者のない女の方が児童を扶養している家庭
 - ・父母のない児童を養育している家庭
- 対象児童
 - ・義務教育終了前の子どもたちです。
- 給付の方法
 - あなたが入入している健康保険証・印鑑・病院からの明細領収証を持って、役場民生課へ給付申請してください。

豊かな人間関係を

人権週間・12月4日～10日

わたしたちの身の回りには、家庭内のもめごと（親子関係、夫婦のこと、相続問題など）や土地売買にからむトラブル、境界争い、金銭貸借など、さまざまな問題が起きます。

このような人間関係のトラブルで悩んでいる方の相談窓口として、人権擁護委員制度があります。人権擁護委員は、市町村長が住民の中から人格もすぐれ、広く社会の実情に通じている人を議会の意見を聞いて推薦し、法務大臣が委嘱します。我が村では、清水信造さん（蓬田）、坂

本繁男さん（中沢）、木村金助さん（瀬辺地）の三人が委嘱され、みなさんの相談に応じています。

人権擁護委員は相談を受けると、内容をじっくり聞いたうえで、必要な手続きを助言したり、関係機関に紹介するなど、それぞれの場合に応じて解決の手助けをします。

相談は人権擁護委員の自宅でも行います。秘密は固く守られますので、気軽に相談してください。

行政マン登場

明治以来百年めの昭和の大事業。

税務課・坂本重雄

税務課の地籍調査係です。農林水産課にいたころから、村の長期的展望にたつた各種施策や計画を進める上で、地籍の不備と不正確さには悩まされてきました。

この仕事を担当できたことを喜んだのも束の間、これはたいへんな仕事だと痛感しました。とくに山林の一筆調査は、照り

つける太陽の下でロッククライミングさながらに、筆界を登ったり降りたりの繰り返しです。これを成しとげないことには、地籍調査はできあがりません。手足の生傷も絶えることなく、へビにも出会います。

これに加えて、明治以来の筆界に蓄積された職がどつと出てきます。

「先祖より聞いている境界はここだ。」

「いや、この土地を買うときの話ではこういう境界であったはずだ。」

などと、筆界については本来関知しないところですが、いつの間にか紛争に巻き込まれたりたいへんです。一筆調査の良否が

地籍調査の成果を大きく左右します。明治初期以来の不明瞭な素図を頼りに、一筆一筆もれや脱落地のないように慎重に調査しています。

当村では残すところ中沢地区だけとなり、終盤に近づきました。完了すれば不公平税制の解消はもちろん、行政や経済活動も計画的に推進でき、やがては村民の生活向上につながるものと思えます。

地籍調査は明治以来百年めの仕事であり、二度とこのようない大がかりな調査はないと予想される昭和の大事業です。今後も村民のみなさんの協力をお願いします。

調査区域	調査年度	調査筆数	調査面積	
			調査前	調査後
広瀬字滝沢	50	303	91.20 ha	128.07 ha
広瀬字坂元 広瀬字高根	51	1,727	350.46	490.80
瀬辺地字山田 瀬辺地字田浦 瀬辺地字瀬辺地山	52 53	1,791	528.70	653.28
郷沢字浜田 蓬田字宮本	53 54	1,544	409.36	416.86
蓬田字汐越 蓬田字蓬田山	54 55	1,045	268.14	313.18
阿弥陀川字汐干 阿弥陀川字江利前沢山	55	1,319	246.83	299.48
長科字鶴巻 長科字川瀬 長科字浦田	56		365.00	
中沢字浪返 中沢字池田	57		340.00	
合計			2,599.68	

公職の候補者等の寄付の禁止

蓮田村選挙管理委員会

公職にある人、公職の候補者及公職の候補者となろうとする方は、選挙に関係なくとも、その選挙区内にある者に対しいっさい寄付をしてはいけません。選挙人も公職の候補者等に対して寄付を勧誘したり、要求してはいけません。

回贈ること、ねだることの禁止事項

- お中元やお歳暮を贈ること。
- お祭りにお金を寄付したり、お酒などを届けること。
- 開店祝いや落成式、起工式のとき花輪を贈ること。
- 出産、入学、卒業、就職などの祝いにお金、品物を贈ること。
- 結婚式するとき、お祝いのお金や品物を贈ること。
- 旅行する人に、せん別を贈ること。
- 葬式の際、香典や花輪、供物などを贈ること。
- 町内会や老人会、後援会などの集まりに、お金を寄付したり食事やお酒などを届けること。
- 町内会などの団体旅行の際、弁当や飲物を差し入れたり、バス代などの費用を負担すること。
- 選挙区からの陳情者などに食事や飲物を出したり、おみやげなどをあげること。

サラリーマン家庭の奥さんも国民年金に加入を

国民年金は、農業や商業など自営業の人が加入の対象となっています。さらに、厚生年金保険などに加入しているご主人をもつサラリーマンの奥さんも、希望により国民年金に加入することができます。

奥さんが国民年金に加入すると、将来ご主人は職場で加入している年金制度から、奥さんは国民年金から、それぞれ老齢年金がうけられることとなります。不慮の事故にあったときは、障害年金や母子年金がうけられることとなります。

老後のために、いざというときに加入しましょう。

加入を希望する方は、役場民生課の国民年金係にご連絡ください。

■電話 2111番

郷土の歴史

No.17

中国越州窯の青磁破片発見

蓬田小学校が建てられていた小高い丘は、小館野と呼ばれています。長科にも続くこの大きな丘陵は、平安時代に村があった場所です。

私が小学校高学年のころ、小学校のグラウンドが整備され、ブルドーザーが入り地表を削りました。そこからは、たくさん土器と支脚が出ました。当時、支脚のことを先

生にきいても、わからなかったようです。今でも、グラウンドで土師器を多少拾うことができます。この土地を何度も歩いてみて、住居跡が何十軒もあつたことがわかります。その、いにしへの住居の跡に、今の小学校が建てられているのです。

小館に相對するようには、蓬田大館があります。ここにも平安時代から村があり、広大な館をかまえた豪族がいたのです。

今年度の蓬田城発掘の中で、大きな発見がありました。発掘に参加した八戸通正さんが、青い茶わんのかけらを拾ったのです。現在のものとも思えたので、一瞬投げようとしたのですが、思い直してとっておいだ破片です。

発掘の最終日である八月一日に、道南東北中世陶磁器研究会が当村の中央公民館で開かれました。この日、東京大学の三上次男名誉教授に例の破片をみてもらったところ、中国の越州窯で焼かれた青磁

であることがわかりました。東北では今だ発見されていないものです。十一世紀ごろのものということでした。

平安時代に中国の器、それも、なかなか手に入らない高価な黄金と同じくらいの高値打ちのある器を持つ豪族が蓬田の大館にいたのです。発見さ

れたのは絵と同じ器で、鳳凰の尾の部分です。

これが朝廷を何度も手こずらせた強い津輕蝦夷をとくカギになるかもしれない。さらに、蓬田は日中交易史の中の蓬田であり、広く世界史とかわってこころことだろう。

(文・倉谷弘孝)



○夜なべで稲こぎ

昔はアラレが降って、足しぶで(冷たい)ころに稲刈ったものです。今は九月二十日ごろに始まりますが、機械化と品種の早いものが出たせいでしよう。以前よく植えたのは、トワタやフジミノリです。

稲刈りは一人一日で二百シマ刈ったといえ、最優秀でした。平均百五十シマです。その人の労力に応じた分しか刈れません。シマダテである程度乾燥すれば、ニオに積みます。

は、庭にオオニオを積んだものです。ニオ積むにも形よく、雨浸み込まないようにコツがありました。正月でも稲こぎしていたという話もあります。

部落には部落の生活様式に合った作業がありました。蓬田では米が一段落するとスミ焼きに三十五人ほど山へ入ります。タギギ取りといって、営林署払い下げの根つコ山とか、部分林とかのタギギ山へ雪の中ソリ引張ってみんな行きました。雪が落ちつけばたい肥運びです。農家の人はたい肥をまてに(たいせつに)しました。今のように入りにくいものではない



○語り部 蓬田
青木与三郎(70歳)

暮らし編②

むらの生活誌

農具編②

秋彼岸前後に稲刈りが始まる。秋彼岸から一回り(七日〜十日)あとにするともいう。

刈り取った稲はスナゲ(ワラを結んだもの)で十把ずつ束ねてシマダテにする。稲の乾燥方法として、棒掛け、はさ掛けも行う。干した稲シマをニオに積む。ニオは稲穂を内側に入れ、円型に積み上げる。そのあと馬などで家に運んだ。

稲が家のイナベに運びこまれると、よなべ仕事で稲こぎが始まる。ヘンコキ(千把こき)を使用したのは昭和初期まで。その後、足踏み脱穀機が登場。昭和二十六年ころから、動力式脱穀機が使用されるようになった。

春の農作業が終われば虫送りがあります。これは我々オヤジ連中も童心に帰って楽しんだ村の行事です。水でとかれた米の粉を見物人やそこいら歩いてる人にベチョッとつけて歩く。女ぶりにいいメラシコには特別よげつけたり、村のナニサマであらうがおかまいなしです。

村の定休日は氏神様のご命日にちなんので決めていました。今では我々の生活が基準のようです。村休みはワケモノが一軒一軒告げて回ります。タイコもたたきました。休みの約束破ったものは罰金です。部落は一つの自治体ですから、村のルール、憲法がちゃんとあって、みんなそれに従ったものです。



足踏み脱穀機

ヤング No.21 メッセージ



○長科・22歳

張 間 基

旅は一人旅がいい



「旅に出よう
テントとシュラフの入った
ザックをしょい
ポケットには
一箱のタバコと笛をもち
旅に出よう……」

私は今二十二歳になりますが
いまだに、一人旅などという道
楽に凝っています。

昨年八月、北海道一周の一人
旅をしました。旅は一人がいい
です。一人旅をするということ
は、とても不安で心細いもので
す。まず旅先では、言葉に飢え
ます。だれとでもいいから話を
したい、そんな気持ちになるも
のです。私はみやげ屋のオバさ
んと、一日中話し込んだことが
ありました。人間というものは

孤独では生きられないものだな
あと、こんなとき自覚させられ
ます。

私はお金を使わない旅が好き
です。私たち現代人にとって、
お金というのはとても価値ある
頼れるものです。ところが、い
にしへの人々は、米と梅干、塩
だけで何日も旅をしたといいま
す。お金を使って旅行するのは
観光旅行であり、お金を使わず
に旅行するのが本場の旅である
と思います。

旅は決して楽しいことばかり
ではありません。旅の途中で雨
にたたられると、浮浪者同然の
惨めな姿になってしまいます。
病気やケガはいちばん残酷です。
昨年私は、ケガをしたうえにカ
ゼをひき、テントの中で二日間
うずくまって過ごしました。そ
んなつらいときには、もう旅を
終わろうか、帰ろうかと思いま
す。苫小牧の駅に、

旅の空

「生も死もともに
旅の楽しさは
帰る家があるからだ」
と書いた額があります。
もし帰る家がなかったら、私
は旅などには出ないでしょう。
住む家があり、家族があり、友
人があるということがどんなに
恵まれていることか、旅をして
初めて私は気付くのです。

個人生活 募集中

青少年育成蓬田村民会議

明日を担う青少年が、たくま
しく、健全に成長することをだ
れもが願っています。
「青少年育成蓬田村民会議」
は、地域のさまざまな立場にあ
る住民、各種団体、学校、行政
機関が一体となり、青少年の非
行防止や、健全育成に関する活

村民会議規約抜すい

- （事業）
- 第四条 この会議は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 青少年がその誇りと責任について自覚を高めるための諸活動
 - (2) 健全な青少年団体及びグループの育成を図り、すべての青少年がこれに参
加することを奨励するための諸活動
 - (3) 勤労青少年の教育、福祉対策を進め、その生活条件などの改善を促進する
ための諸活動
 - (4) 体育、レクリエーションを奨励するための諸活動
 - (5) 健全育成施設の整備を促進するための諸活動
 - (6) 家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携を図るための諸活動
 - (7) 家庭の健全化を図る諸活動
 - (8) 青少年の非行防止のための諸活動
 - (9) 社会環境の浄化を図るための諸活動
 - (10) その他、この会議の目的を達成するための諸活動
- （会員）
- 第五条 この会議は、この会議の趣旨に賛同する個人及び団体をもって構成
する。

動を展開しています。
現在村民会議では、この活動
の輪をさらに広げるために、個
人会員を募集中です。地域の大人
たちが、どの子供たちにも温
かい目を向ける姿勢と連帯の意
識を育てるためにも、小・中・
高校生のあるなしにかかわらず
関心を寄せる方は、どなたでも
加入できます。
青少年にとって望ましい生活
環境を整備するのは地域社会の
大人の役目です。あなたの加入
を歓迎します。
●連絡先 社会教育課
電話・2525番

母親クラブ通信②

阿弥陀川母親クラブ



会 長
森 睦世

阿弥陀川母親クラブが発足したのは六年前。私が母親クラブの会長になったのは、今年の春です。

今までは母親クラブといってもきまつたことに協力するだけでした。自分が会をまとめたり指導する立場になって、初めて母親クラブの重要さに責任を感じています。

発足当時は、お母さんたちの「和」をつくり、活動の趣旨を理解してもらおうことに一年を過ごしたようです。六年

間に、会長をひきうけたのは私で四人ですが、それなりに、いっしょけんめい活動を続けてきました。

これまでの事業内容を紹介しますと、親子体力づくりとしてアスレチックで汗を流したことや、足を鍛えるためにサイクリングセンターに出かけたことが思い出されます。とくに、いっしょに行つたおばあちゃんも昔を思い出したのか自転車に乗り、汗をふきふきコースに挑戦したことは愉快でした。

親と子が和を深める集いとして、ミニ運動会やクリスマス会、読書会を開いています。クリスマス会には親子でできるゲームをくふうするなど、会員一同協力しています。

子どもたちの安全対策として、水難事故防止教室と、交通安全のために園児の送り迎えをしています。奉仕活動として、スクールバス停のガラス修理、公民館の清掃があります。今年の春には、地域の美化運動として、草取り、空

かん収集を行いました。ごみ

思いやりの心育てたい

捨て場でないところによくごみが投げられています。そんな場所に立札を立てたり、ゴミ入れ用の缶を各班に取り付けました。

今後、母親としての学習はもちろん、健康で思いやりのある広い心を持った子どもたちを育てあげような母親クラブにしたいと思います。

折々の記

藤 本 富 代

(長科)

倒れてもなほ花開くコスモスに

夜の露の なぐさめあらむ

寂しければ秋やわらかき芝草の

人恋ふころ 素足より込む



浜っ子もビックリ

… 定置網にクジラ …

網を引き揚げたら、なんとクジラが一頭。このクジラは10月5日の朝、中沢の山口竹松さんの定置網に入っていたものです。山口さんはさっそく無線で応援の船を呼び寄せ、やっと陸へ揚

げました。

全長 3.6メートルのクジラは、イワシやフクラゲを追っている途中網にかかったらしく、珍しい獲物に子供たちもビックリ。漁師歴33年という山口さんですが、15年ほどクジラを見かけなかったそうで、「今年は大漁かな」とうれしそうです。

とつちや
元気でですか
出かせぎ文集「こころ」

戸籍の窓 □

(蓬田村の人口：4,527人)



8月・9月受付分

◎お誕生おめでとうございます。

- 川嶋麻優子 (勝利・2女)
- 小野 真一 (英雄・長男)
- 細谷 佳久 (仁・3男)
- 坂本 悟一 (万蔵・4男)
- 木村 香 (光秀・2女)
- 森 智子 (林之進・2女)
- 坂本 悠麻 (忠則・長男)
- 吉崎 千絵 (達志・2女)
- 大宮 裕之 (正志・長男)
- 武井 大介 (一成・長男)
- 越田寿弥江 (勇一・長女)
- 工藤 貴弘 (貴美男・長男)
- 山館 幸枝 (昭夫・長女)
- 大宮 美怜 (久司・長女)

◎ご結婚おめでとうございます。

- (水川 一司 (岡山県))
- (秋田 和子 (瀬辺地))
- (今 正一 (今別町))
- (久慈久美子 (広 瀬))
- (中川 順一 (郷 沢))
- (梅田久美子 (青森市))
- (黒瀧 博道 (弘前市))
- (福井 和子 (郷 沢))
- (清野 実 (山形県))
- (松本美穂子 (長 科))
- (飯田 敏彦 (瀬辺地))
- (鷲尾ひさ子 (平館村))
- (高田 諭 (郷 沢))
- (記田左知子 (蟹田町))
- (武井 金善 (広 瀬))
- (逢坂真利子 (平内町))
- (工藤 一己 (青森市))
- (小川久美子 (広 瀬))
- (張間 晶 (長 科))
- (小林千恵子 (青森市))

●お悔やみ申しあげます。

- 田中卯之松 (瀬辺地・78歳)
- 藤本 りさ (長科・61歳)
- 森 さん (阿弥陀川・85歳)

●雪ふればかえりますか

蓬田小2年・金谷百合絵

お父さん元気ですか。お父さん、はたらいしていますか。けがしないでいますか。ゆきがふったらかえってきますか。

はやくおわってうちにおいて、そのまましごとに行つて、ゆうがたかえつてくればいいと思います。お父さんがかえつてくれば、お父さんの車でかたにたに行つて、おりがみやぬりえをかってもらうにいいです。いえにいれば、てつやとすもうをとつたりしてあそぶにいいです。お父さんがいないから、てつやは早くねています。お父さん

●事故に気をつけて

蓬田中3年・木村伸一

父さん元気にやっていますか。ぼくたちも元気です。

早くかえつてきてください。



もう秋でとても寒いので、体には気をつけてください。こつちではもう少しで中学校の運動会があります。今、そのためにがんばっています。家では変わったこともなく、みんながんばっています。

●とつちやへ

蓬田中3年・和田 剛

とつちや元気だが。わも、正道も、おかつちやも、みんな元気だ。とつちやも仕事けつぱれ。剛も学校さ、まじめに行くから。とつちや元気。剛も、正道も、おかつちやも、みんな元気。でいるから。

●あとかぎ

今回から、わが家を遠く離れて仕事をするお父さん方へ、子供たちの便りをとどけます。帰りを待ちこがれている子や、中学生らしく、留守をしつかり守ろうとする子供たちの気持ちがあふれています。今年も凶作。出稼ぎ者が増えそうです。蓬田村のお父さん方、体に気をつけてがんばってください。

父さんもがんばり過ぎて病気になるように、健康だけにはじゅうぶん気をつけてください。運動会を見せられないのは残念だけど、がんばります。もう部活動も終わって、ぼくは入試のために勉強をがんばろうと思つています。父さんも仕事がんばってください。くれぐれも事故だけは気をつけてください。

北海道は、こちらより冷えると思うので、前から悪かった腰や腹をだいにししてください。これからも、がんばってください。ぼくたちもがんばります。